11月です。今年も後２ヶ月。150号です。

TOPICS | 今月の練習予定 | 和声の話

GENERAL PAUSE

今月の練習予定

11月の予定です。（施設が使えることを前提としたスケジュールです。）

月	練習日	合奏の時間	曲目
11	5	19:00～	河毛先生の合奏
	8		音の祭典本番
	12	19:00～	個人練習
	19	19:00～	初見大会
	26	19:00～	初見大会
12	3	19:00～	

音の祭典
2026年11月8日　八幡市文化センター大ホール　12:30開場　13:00開演
演目：風がきらめく時、大草原の歌
詳細、別途データ配信

公民館ふれあいフェスタ
2027年6月27日　日曜日
来年は1日のみの開催です。

和声の話

先月号では、管楽器の調性がなぜ下属調の関係に沿っているのかについてお話ししました。今月は、音楽を構成する重要な要素の一つである「和声」についてお話ししたいと思います。
音楽には、旋律（メロディー）、律動（リズム）、和声（ハーモニー）という三つの基本要素があります。

では、和声とは何でしょうか。和声の「声」は音のことです。「和」には、調和する、互いに調子を合わせるという意味があります。つまり、複数の音が互いに関係しながら響くことを表しています。

まず、複数の異なる高さの音が同時に響くことによって生まれる音の組み合わせを「和音」といいます。そして、和音の構造や働き、和音同士のつながりを扱うのが「和声」です。

和声の基本となるのが三和音です。三和音は、ある音を根音として、その上に3度ずつ音を積み重ねることで作られます。

例えば、C-dur（ハ長調）の音階で「ド」を根音として3度ずつ積み重ねると、「ド・ミ・ソ」という三和音ができます。この三つの音を、それぞれ根音、第3音、第5音と呼びます。

三和音には長三和音と短三和音があり、音の間隔の違いによって響きの性質が変わります。以前に書いた倍音も、こうした音の響きを考えるうえで関係しています。

主要三和音については次号以降で触れるとして、吹奏楽では、一人ひとりが異なる音を演奏することで和音が作られます。自分が吹いている音が根音なのか、第3音なのか、第5音なのかを意識することは、音程や響きのバランスを考えるうえでも大切です。

編集後記

先日、吹奏楽コンクールの全国大会があったそうです。京都代表で関西代表の両洋高校が金賞を獲ったという話です。
<了>